

開催日	令和4年5月30日	時間	15:00～ 16:20	場所	役場 大会議室
会議	朝日村農業ビジョン検討会（第4回）				
内容	・朝日村農業ビジョン（案）について				
出席者	別紙名簿の通り（欠席者：上條靖志、清沢美智穂、太田和美、曾根原加奈子、上條典泰）				
<p><u>あいさつ</u></p> <p>小林村長</p> <p>お忙しい中、またお暑い中お集まりいただきまして、ありがとうございます。朝日村は、今出荷が最盛期という中で、本当にお疲れ様でございます。</p> <p>ビジョンについては、最初の方から皆さんに、朝日村の強みや弱みなどから課題等を紐解いていただき、10年20年30年先の農業をただ心配するのではなく、そういったことを強みに変えていこうということで、将来の朝日村の目指す農業をビジョンにまとめようと今日まで来ました。皆さんのご協力をいただき、ある程度の形まで来ましたので、今日ご審議をいただき、欠けている点やもう少しこうの方がいいのではなどというご意見をいただき、最終版に仕上げたいと思います。本日はよろしく願いいたします。</p> <p><u>協議事項</u></p> <p>農業ビジョン（案）について(清沢課長、高山係長説明)</p> <p><u>質疑応答</u></p> <p>小林村長</p> <p>今説明のあった重点目標について、目に見える形で明確化した方がいいのでは。</p> <p>清沢課長</p> <p>対応します。</p> <p>清沢正彦委員</p> <p>SDGsについて、世の流れに従ってやっていかなければならない。村の中で、有機農業者はないのでしょうか。</p> <p>清沢課長</p> <p>減農でやられている方は何人かいらっしゃいますが、法人等はありません。</p> <p>清沢正彦委員</p> <p>エコファーマーもいませんか。</p> <p>清沢課長</p>					

はい、おりません。

清沢正彦委員

有機農業（エコファーマー認証）について、それだけ儲からない、食べていけないため5年、7年で辞めてしまいます。まず、循環型農業を実施し、その後、有機農業の実践に繋がったほうがよいと思います。

篠田係長

国の方では、みどりの食料システム戦略という方針を出してきました。先日、関東農政局長野県拠点との意見交換の中で、局の方からも、このシステム通りに完全移行するのはなかなか難しいのではないかと意見が出ました。農村支援センターからも、有機農業は地域の皆さんの理解が必要であることや、生産者だけがこれをやっても、生業として成り立たない。消費者や流通業者等、関係者全員を巻き込んで意識改革していかないと難しい問題であるという点や、有機農業として確立していない品目についてのノウハウを出していただきたい要望を出させていただきました。今後も、随時長野県としての意向を国に繋げながら推進していきたいと考えています。

中村守一委員

エコファーマー認証制度について、制度開始当初は、JAが仲介となり多くの方が認定されたが、ほとんどが継続しなかったのは利用価値がなかったからではないでしょうか。当時はJA等の対応が遅れ市場に持ち込んでも、付加価値がなかったため、継続する人が少なかったです。直売所に卸す場合には、認証のあるものに価値が出てくるのではないのでしょうか。県でもそういった点に力を入れて、みどりの食料システム戦略を推進していただきたいです。

また、有機農業は非常に幅が広いです。有機だけでよいのか、化学肥料・農薬は本当に必要ないのかしっかり研究する必要があると思います。

意見交換

島田ひとみ委員

基本的にはうまくまとまっていると思います。これからの農業に向かって、気候に対応できる農業の取り組みや不安などを共有する場が必要だと思います。

清沢元就委員

立派な農業ビジョン(案)だと思います。大切なのはビジョンをどう実行していくかです。実行していく意思を、言葉でなにか表せばいいかなと思います。

次代の農業を担う子どもへの食育について、朝日に限らず、今の子どもたちで農業を知っている子は減ってきているような気がします。子どもたちが農業を理解できるような表現があると嬉しいです。

下田直美委員

有機農業に関して、自分たちもいきなり始めるのはやはり不安であるため、継続的に講習会を開催して欲しいです。ぜひ農家の理解を得てから進めてほしいと思います。

上條惣一郎委員

有機については、畑の準備からなにかから時間がかかります。その辺も鑑みたスケジュールで推進していく必要があると思います。

今、農業は博打です。肥料の高騰などで今が特に大変になっています。将来のことも大事ですが、そこまで継続しているかも分からない現状です。今日の前の課題を一つ一つ潰すことがとても大切だと思います。

武田修委員

スマート農業の検討について、朝日村に合った方法を勉強し、少しでも早く取り入れられるようにしていかなければならないと感じます。

青柳みよ子委員

コロナ支援事業で農家は支援してもらえていません。若い人に勧められる、魅力ある農業にする必要があると思います。

二茅克仁委員

ビジョン自体は日本が経済成長する前提で作られていると思うのですが、そうじゃない時、実現できるところと出来ないところが出てきてしまうと思います。消費者は減っていくなか資材も高騰しています。ビジネスとしての農業だけでなく、生き方、生きがいとしての農業を見出していく必要があると思います。

中村守一委員

作る楽しみ、食べる楽しみを話し合える場、交流会があることは、楽しい農業にもつながっていくと思います。

また、新規就農者に対する補助事業はとてもいいことだと思う。その他にも、年間を通じて比較的使わない農機をリースしたりだとか、考えていく必要があると思います。

小林村長

ロードマップ等の見直しを行い、重点項目が見える化していきたいと思います。

その他

【次回開催】令和4年6月27日（月）午後1：30 予定